

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

社会福祉法人伸康会 木質ペレットボイラー設備
導入事業（グループホーム）

排出削減事業者名：社会福祉法人伸康会

排出削減事業共同実施者名：株式会社F Tカーボン

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	社会福祉法人伸康会
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	介護老人保健施設 平成の家（グループホームふれあい）
住所	青森県弘前市大字独狐字石田 180-4
排出削減事業共同実施者（J-クレジット保有予定者）	
排出削減事業 共同実施者名	株式会社 F T カーボン
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

社会福祉法人伸康会 木質ペレットボイラー導入事業（グループホーム）

2.2 排出削減事業の目的

当施設は入所、通所の方々が多く、また建物も大きく冬の寒さが厳しいため、設立以来暖房給湯のために化石燃料を多量に用いてきました。しかし、環境への配慮について国民の多くが関心を持つ世の中となり、当法人でも地球温暖化防止の一助となる新エネルギーの普及に努めていきたいと考えています。本事業では、化石燃料にかわって木質ペレットを燃料とするバイオマスボイラーを設置することで、「木材資源の有効利用」という青森県の政策にも沿った取り組みでCO2 を削減します。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

グループホーム施設の暖房・給湯の熱源として、灯油を燃料とする化石燃料ボイラーから、木質ペレットを燃料とするバイオマスボイラーへ更新することで、灯油の使用量を減らし、CO2 を削減することが出来る。

2.4 J-クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

変更なし

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2009年11月2日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月1日 ～ 2017年11月1日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

活動量・原単位は採用しない。

4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない。

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

- ・ 既存設備（灯油ボイラー）は、非常時のみバックアップ用として使用する。
- ・ 本事業のバウンダリーは、燃料供給設備を含み、グループホーム施設の居室暖房、及び浴槽シャワー等給湯用としてバイオマス焚きボイラー、及びバックアップ用の既存設備が供給する熱・蒸気を使用する範囲とする。
- ・ バイオマス燃料であるペレットは業者より購入し定期的に運搬しサイロへ投入する。（弘前→事業者）

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング 方法・根拠資料	(モニタリング方法 に変更ある場 合、) 変更理由
F _{バイオマス,PJ}	事業実施後燃料使用 量 (バイオマス)	t	56.55 【2013年4月～2014年3月】 53.95 【2014年4月～2015年3月】 55.90 【2015年4月～2016年3月】 59.80 【2016年4月～2017年3月】 16.90 【2017年4月～11月】	燃料供給会社 からの請求書	変更なし
F _{灯油,PJ}	事業実施後燃料使用 量 (助燃剤：灯油)	L	40,033	流量系の計測 データより集 計	変更なし
設備稼働 時間	事業実施後設備の稼 働時間	h	8,760 【2013年4月～2014年3月】 8,760 【2014年4月～2015年3月】 22,704 【2015年4月～2017年11月】	計測データよ り算定	変更なし
EL _{PJ}	事業実施後ボイラー で使用する電力使用 量	kwh	5,256 【2013年4月～2014年3月】 5,256 【2014年4月～2015年3月】 13,622 【2015年4月～2017年11月】	ボイラー稼働 時間と電力量 との積から算 出	変更なし
LV _{バイオマス,PJ}	事業実施後燃料の単 位発熱量 (バイオマ ス)	GJ/t	18.1 【2013年4月～2014年3月】 18.2 【2014年4月～2015年3月】 18.0 【2015年4月～2016年3月】	分析機関から の証明書より 算出	変更なし

			18.1 【2016年4月～2017年3月】 18.0 【2017年4月～11月】 (到着ベース、低位発熱量)		
LV 灯油,PJ	事業実施後燃料の単位発熱量(助燃剤:灯油)	GJ/L	0.0347	J-クレジット制度のデフォルト値	変更なし
ε PJ	事業実施後ボイラーのボイラー効率	%	85.0 (低位発熱量)	カタログ値	変更なし
ε BL	ベースラインのボイラー効率	%	88.0 (低位発熱量)	カタログ値	変更なし
CF 灯油,PJ	事業実施後燃料(助燃剤:灯油)の単位発熱量あたりのCO ₂ 排出係数	tCO ₂ /GJ	0.0722 (低位発熱量)	J-クレジット制度のデフォルト値	変更なし
CF 灯油,BL	ベースライン燃料(助燃剤:灯油)の単位発熱量あたりのCO ₂ 排出係数	tCO ₂ /GJ	0.0722 (低位発熱量)	J-クレジット制度のデフォルト値	変更なし
CF ^{electricity}	事業実施後ボイラーで使用する電力のCO ₂ 排出係数	tCO ₂ /kWh	0.000570 【2013年4月～2014年3月】 0.000554 【2014年4月～2016年3月】 0.000531 【2016年4月～2017年11月】 (全電源)	J-クレジット制度のデフォルト値	変更なし

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
40,033 (L)	0.0347 (GJ/L)	0.0722(tCO2/GJ)	
0.6 (kW) 8,760 (h)		0.000570 (tCO2/kWh)	
0.6 (kW) 8,760 (h)		0.000554 (tCO2/kWh)	
0.6 (kW) 22,704 (h)		0.000531 (tCO2/kWh)	
EM _{PJ}			113.4 (t-CO2)

6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
56.55 (t) 85.0 (%) 88.0 (%)	18.1 (GJ/t)	0.0722(tCO2/GJ)	
53.95 (t) 85.0 (%) 88.0 (%)	18.2 (GJ/t)	0.0722(tCO2/GJ)	
55.90 (t) 85.0 (%) 88.0 (%)	18.0 (GJ/t)	0.0722(tCO2/GJ)	
59.80 (t) 85.0 (%) 88.0 (%)	18.1 (GJ/t)	0.0722(tCO2/GJ)	
16.90 (t) 85.0 (%) 88.0 (%)	18.0 (GJ/t)	0.0722(tCO2/GJ)	
40,033 (L) 85.0 (%) 88.0 (%)	0.0347 (GJ/L)	0.0722(tCO2/GJ)	
EM _{BL}			403.6 (t-CO2)

6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0
LE			0

6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	<i>EM_{BL}</i>	403.6
事業実施後排出量 (7.1)	<i>EM_{PJ}</i>	113.4
リークージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	0
温室効果ガス排出削減量	<i>ER</i>	290

7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン －実績 (①－②)
34.6	35.8	▲1.2

8 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2013年4月1日 ~ 2017年11月1日)			
		エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (GJ) (実績)	原油換算(kl) (実績)
	単位			
バイオマス利用量	t	243.10 t	4,398 GJ	113.5 kL